第１部　近・現代世界史の背景　～諸地域世界とその交流～

第１章　ユーラシアの諸地域世界

４節　西アジア世界

③ イスラーム世界の発展（教科書 p.32～33）

■ポイント

①アッバース朝はなぜイスラーム帝国といわれるのだろうか。

② 9 世紀後半以降のイスラーム世界はどう変遷したのだろうか。

③イスラーム世界は，どのような文化的功績をのこしたのだろうか。

イスラーム帝国の成立〔p.32〕

ウマイヤ朝の税制

非アラブ人に〔　　〕（人頭税）と〔　　〕（地租）

→マワーリーの不満（非アラブの改宗者）

〔　　〕**朝**（750～1258）首都：〔　　〕

ムスリム（アラブ人＋マワーリー）平等化

→ハラージュ賦課，シズヤ免除

全盛時代：〔　　〕

イスラーム世界の分裂と拡大〔p.32〕

イベリア半島

・〔　　〕朝（756 年成立）

東方

・〔　　〕朝（10 世紀なかば成立，イラン人）

…イクター制：軍人に土地の徴税権

・〔　　〕朝（11 世紀なかば成立，トルコ人）

…スルタンの称号←アッバース朝カリフから

エジプト

・〔　　〕朝

→〔　　〕朝…十字軍をしりぞける

→〔　　〕朝

モロッコ→イベリア半島に進出

・〔　　〕朝・〔　　〕朝…ベルベル人の王朝

サハラ以南…〔　　〕王国など

・トンブクトゥ…岩塩と金の交易都市

イスラーム文明〔p.33〕

多様性…イスラームと〔　　〕語＋諸文明

（イラン，ギリシア，ヘレニズム，ローマ，インドなど）

〔　　〕**（学院）・図書館**

数学…ゼロの概念（インド）→〔　　〕数字

イベリア半島…イスラーム・キリスト両教徒間の交流

トレド…著作の翻訳（〔　　〕語→〔　　〕語）